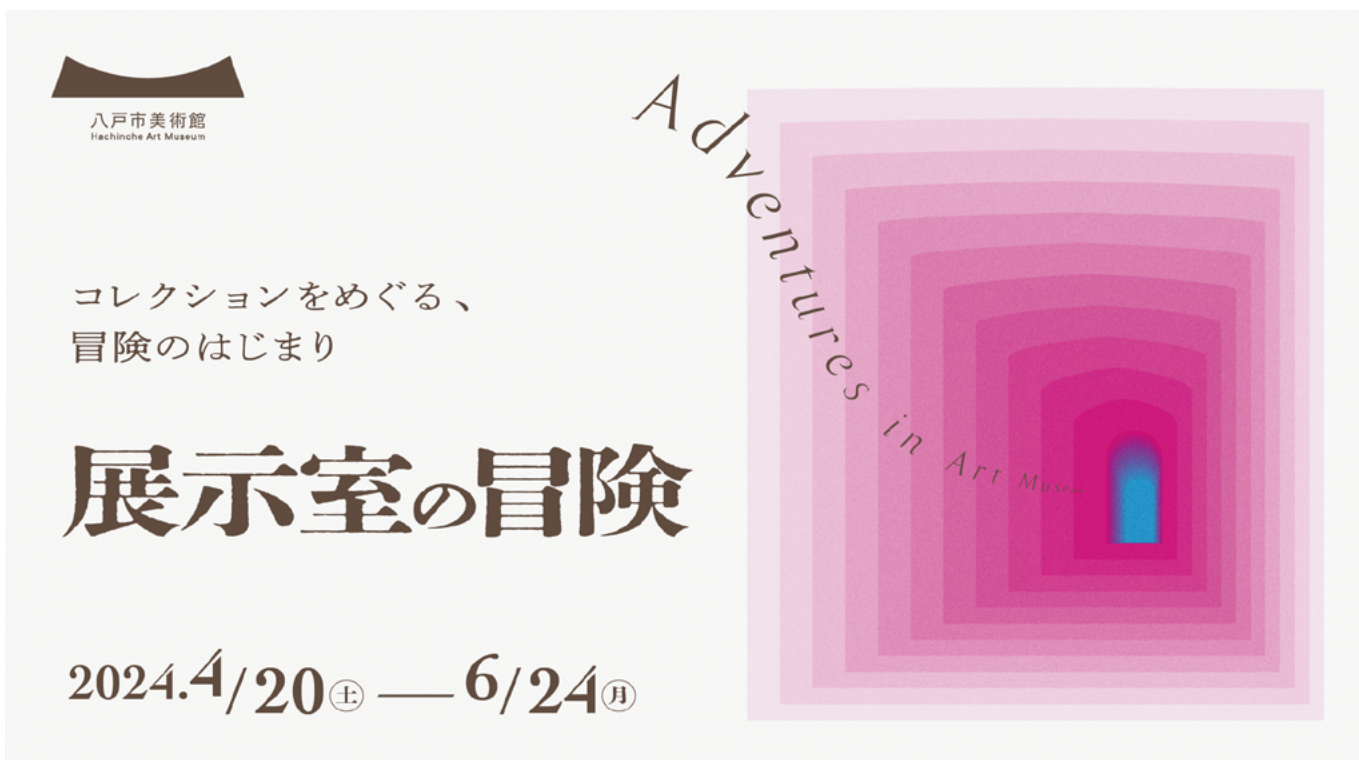


企画展

展示室の冒険

内覧会・展示のお知らせ

内覧会 | 2024年4月19日[金]・会期 | 2024年4月20日[土] - 6月24日[月]



内覧会

日時 2024年4月19日[金] 14:00 - 16:00

会場 八戸市美術館

タイムスケジュール
13:30 - 14:00 受付
14:00 - 14:05 開会挨拶
14:10 - 14:40 学芸員によるギャラリーツアー(自由参加)
14:10 - 16:00 自由観覧

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp/>
担当者職氏名(企画・広報) | 篠原・山田・齊藤



展覧会概要

本展は、展示室でくり広げられる冒険がテーマの展覧会です。“展示室の管理人”を名乗る謎の人物から届いた招待状。そこから冒険が始まります。展示室の入口をくぐり抜け、あなたを待ち受けるのは、出会い、感動、困惑、ときめき、それとも……。

今回ご覧いただくのは、2021年に再開館してから初めて展示する作品です。展示室には、管理人が残したヒントの言葉や、アイテムを自由に使い、自分なりに作品の楽しみ方を探す仕掛けがあります。自らの感覚と関心で、作品と出会い、冒険をお楽しみください。この冒険で、素敵な出会いがありますように！

開催概要

会期	2024年4月20日[土] - 6月24日[月]
開館時間	10:00-19:00(展示室入場は18:30)
休館日	火曜日(ただし4月30日[火]は開館)
観覧料	一般800円(700円)、高大生以下無料、割引対象者500円 ・()内は、20人以上の団体料金。有料駐車場ご利用の運転手1名に団体料金適用。 ・割引対象者=八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)在住の65歳以上の方。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名。 ・フリーパス「かおパス」=一般1,200円、割引対象者800円。本展覧会に限り何度でもご覧いただけます。 *各種割引とフリーパスは重複して使用できません。
主催	八戸市美術館
後援	八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、NHK青森放送局、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM
担当学芸員	篠原英里、山田泰子
グラフィックデザイン	三上真嗣、花田耕助(東北のデザイン社)
照明	藤原工、塚田直喜(株式会社灯工舎)
映像	神智
会場構成	佐藤慎也



左：岩館千松《たなばた》1980 中央：戸村茂樹《樹影VI》1990 右：佐藤淳子《粉雪のウィスコンシン》1994



開催主旨

本展は八戸市美術館が再開館してから2回目の、コレクションを活用した企画展です。当館コレクション約3,000点の中から69点の作品を展示します。

本展では、コレクションを見る機会を提供すると共に、様々な作品鑑賞を楽しんでもらうことを目的としています。

作品鑑賞の楽しみ方一つではありません。タイトルや解説を見ずに、作品だけを見て高揚感を味わったり、模写をしたり、誰かと話しながら鑑賞することもあれば、解説を見て理解を深める楽しみ方もあります。また、自分で気になったことを調べ、作品同士の繋がりを発見する楽しみ方もあります。

御来場のみなさまが自分なりの楽しみ方を見つけられるように、展示室内には、鑑賞のためのアイテムやヒントの言葉があります。また、「森のダンジョン」と名付けたゾーンでは、解説テキストを作品展示壁の裏側にあえてまとめることで、テキストが視覚的な邪魔にならないように工夫しています。

人々が展示室に足をふみ入れたら、そこで何が生じ、何が起こり得るのか、という発想から企画しました。ドキドキしながら展示室に入り、作品と出会い、感覚や考えを深めながら進み、大切な何かを得る。そのようなそれぞれの「冒険」が展示室でくり広げられることを期待しています。

関連イベント

アーティストトーク

展示作家が自身の「冒険」を語ります。

「下村正二の冒険」 5月5日[日] 14:00-15:00

「明山應義の冒険」 6月8日[土] 14:00-15:00



下村正二《流れる時の記念碑》1993

学芸員によるギャラリートーク

担当学芸員が展覧会を案内。

6月15日は手話通訳あり。

日時| 4月20日[土]、4月28日[日]、

5月11日[土]、5月26日[日]、6月15日[土]、

6月23日[日] 各回 14:00-15:00



明山應義《母子G》1998

みんなでじっくり鑑賞ナビ

学校の先生が鑑賞をナビゲートします。

詳細は八戸市美術館 HP でお知らせします。



同時開催企画

「展示室の冒険」と同時期に2つの企画を開催します。1つは、県内5つの美術館・アートセンターが連携し開催する「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」の、八戸市美術館メイン企画「エンジョイ!アートファーム!!」です。この企画では、八戸在住のアーティストが、様々なジャンルのプロジェクトを、ジャイアントルームで来場者とともにくり広げます。もう1つは、コレクションラボで開催中の「大久保景造と八戸文化」です。画家や詩人として多彩な活動を行った大久保景造を紹介しています。企画展と合わせて、八戸とゆかりのある人や作品に埋め尽くされた美術館をお楽しみください。

開催概要	エンジョイ!アートファーム!!
会期	2024年4月13日[土] - 9月1日[日]
休館日	火曜日、6月26日[水](ただし4月30日[火]、8月13日[火]は開館)
観覧料	無料
主催	八戸市美術館
担当学芸員	平井真里、大澤苑美、高橋麻衣

開催概要	コレクションラボ007 大久保景造と八戸文化
会期	2024年3月23日[土] - 7月8日[月]
休館日	火曜日、3月27日[水]、6月26日[水](ただし4月30日[火]は開館)
観覧料	無料
主催	八戸市美術館
担当学芸員	大澤苑美
関連イベント	ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」(予定) 2024年5月10日(金)19:00-20:00



広報用画像



a



b



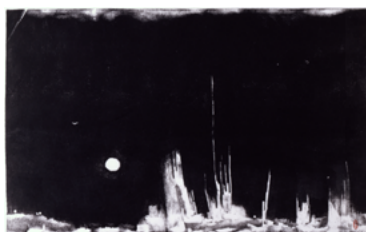
c



d



e



f



g

[キャプション]

- ・ a. 岩館千松《たなばた》1980
- ・ b. 戸村茂樹《樹影VI》1990
- ・ c. 明山應義《母子 G》1998
- ・ d. 佐藤淳子《粉雪のウィスコンシン》1994
- ・ e. 下村正二《流れる時の記念碑》1993
- ・ f. 岩沢喜作《冬の海岸の枯木と鳥》1987
- ・ g. 豊島弘尚《ロキとオーディン》1988

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. 担当者名、4. 連絡先、5. 掲載 / 放送予定日、6. 画像到着希望日、7. 希望画像が掲載されているプレスリリースの発行日、8. 希望画像記号】をメール、または FAX に明示の上、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

[画像の貸出条件]

- ・ 画像は本企画・美術館紹介の目的のみにお使いいただけます。画像データは第3者へ譲渡せず、使用后すみやかに消去してください。
- ・ 画像のトリミング・編集、画像の上に図や文字を重ねることは原則できません。必要な場合は事前にご相談ください。
- ・ 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。
- ・ 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。
- ・ 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp/>
担当者職氏名(企画・広報) | 篠原・山田・齊藤